

北見工業大学学報

第 271 号 (2015 年 9 月号)

目 次

学位記授与式	平成 27 年度 9 月期学位記授与式を举行……………	3
入 試	大学院入学試験を実施……………	4
	平成 28 年度編入学学生募集要項 (第 2 次募集) の公表……………	6
	平成 28 年度学生募集要項の公表……………	7
研 究 助 成	平成 27 年度共同研究の受入状況……………	9
	平成 27 年度受託研究の受入状況……………	10
	平成 27 年度奨学寄附金の受入状況……………	10
人 事 受 賞	人事異動……………	11
	生産基盤工学専攻ヌルアイヒマティジャン・アブリズさんが Best Paper Award を受賞……………	12
	社会環境工学科 亀田貴雄教授が日本雪氷学会論文賞を受賞……………	13
諸 報	「おもしろ科学実験」を開催……………	14
	小中学校教諭対象の理科実験研修「地質見学会 ～地層と化石を探る」を実施……………	15
	「大学で学ぶサイエンス」を実施……………	16
	学生寮防火訓練を実施……………	17
	「おもしろ科学の祭典 in びほろ」に参加……………	18
	平成 27 年度北見工業大学技術部技術員研修を実施……………	19
	高大連携協力に関する協定に基づく講座を実施……………	20
	イノベーション・ジャパン 2015 へ出展参加……………	21
	北の逸品インフォメーションバザール in Tokyo 2015 へ出展参加……………	22
「科研費パワーアップセミナー」を開催……………	23	

	研究費使用に関する意見交換会を開催……………	24
	第28回国立大学法人共同研究センター等教員会議に出席……………	25
	平成27年度第1回安全衛生講習会を実施……………	26
	「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」を開催……………	27
	図書館消防訓練を実施……………	28
情報公開	財務諸表等の開示……………	29
日誌	8月・9月……………	30

= 学位記授与式 =

平成 27 年度 9 月期学位記授与式を挙行

(総務課)

9月4日(金)午前10時から、平成27年度9月期学位記授与式が本学第1会議室で行われました。

授与式では、理事、副学長、事務局長、指導教員の他、修了生の関係者の方々が列席するなか、学部卒業生、大学院工学研究科博士前期課程・博士後期課程修了者及び

論文博士に対し、高橋信夫学長から学位記が授与され、「学位取得に費やした努力は今後の人生において大いに生かすことができる貴重な経験です」との言葉がありました。

また、式終了後には記念撮影を行うなど、喜びを分かち合う姿が見られました。



高橋学長(左)より学位記を授与される修了者の様子



修了者たちに祝辞を述べる高橋学長

= 入試 =

大学院入学試験を実施

(入 試 課)

8月24日(月)～26日(水)、平成27年度秋季及び平成28年度大学院入学試験(第1回)を実施しました。課程別専攻別の合格者数等は、下表のとおりです。

平成27年度(秋季)博士前期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
機械工学専攻	若干人	0	0	0
社会環境工学専攻		1	1	1
電気電子工学専攻		0	0	0
情報システム工学専攻		0	0	0
バイオ環境化学専攻		0	0	0
マテリアル工学専攻		2	2	2
合 計		3	3	3

平成27年度(秋季)博士後期課程

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
生産基盤工学専攻	若干人	2	2	2
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻		2	2	2
医療工学専攻		0	0	0
合 計		4	4	4

平成 28 年度博士前期課程(第 1 回募集)

専攻名	入学定員	募集人員			志願者			受験者			合格者			
		一般入試	特別入試	計	一般入試	特別入試	計	一般入試	特別入試	計	一般入試	特別入試	計	
機械工学専攻	22	11	若干人	22	13	0	28	13	0	25	13	0	19	
		11				15			12			6		
社会環境工学専攻	20	10			20	9	0	11	9	0	11	9	0	11
		10				2			2			2		
電気電子工学専攻	20	10			20	10	0	17	10	0	17	10	0	17
		10				7			7			7		
情報システム工学専攻	16	8			16	6	0	17	6	0	14	6	0	14
		8			11			8			8			
バイオ環境化学専攻	18	9		18	8	0	14	8	0	14	8	0	12	
		9			6			6			4			
マテリアル工学専攻	16	8		16	10	0	18	10	0	17	10	0	16	
		8			8			7			6			
合計	112	112			105			98			89			

※一般入試の上段は推薦入試、下段は学力試験入試

※特別入試は社会人特別入試、外国人留学生特別入試及び高等専門学校専攻科生特別入試の合計

平成 28 年度博士後期課程(第 1 回募集)

専攻名	募集人員	志願者	受験者	合格者
生産基盤工学専攻	3	0	0	0
寒冷地・環境・エネルギー工学専攻	3	0	0	0
医療工学専攻	2	0	0	0
合計	8	0	0	0

平成 28 年度編入学学生募集要項（第 2 次募集）の公表

（入 試 課）

平成 28 年度編入学学生募集要項(第 2 次募集)が公表されました。概要は以下のとおりです。

学 科 及 び 募 集 人 員	工学部全学科 7 人
出 願 資 格	(1) 高等専門学校・理工系の短期大学を平成 28 年 3 月卒業見込みの者 (ただし、商船高等専門学校商船学科については、平成 28 年 9 月卒業見込みの者) (2) 学校教育法第 132 条に規定する専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上で、 かつ、課程の修了に必要な総授業時数が 1,700 時間以上であるものに限る。）を 平成 28 年 3 月修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限る。）
出 願 期 間	平成 27 年 10 月 21 日（水）～平成 27 年 10 月 27 日（火）
試 験 日	平成 27 年 11 月 17 日（火）
合 格 発 表	平成 27 年 12 月 9 日（水）

平成 28 年度学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 28 年度北見工業大学学生募集要項（一般入試・特別入試）が公表されました。募集要項の主な内容は以下のとおりです。募集要項の配布は入試課窓口で行っております。

募集人員

系・学科名		入学 定員	募集人員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	帰国子女特別入試
機械・社会環境系	機 械 工 学 科	160	64	56	40	各系とも 若干人
	社会環境工学科					
情報電気エレクトロニクス系	電 気 電 子 工 学 科	140	60	45	35	
	情報システム工学科					
バイオ環境・マテリアル系	バ イ オ 環 境 化 学 科	110	46	36	28	
	マテリアル工学科					
合 計		410	170	137	103	

※ 入学後 1 年間は各系に所属し、2 年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

《注意事項》

- ① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別入試の募集人員若干人を含みます。
- ② 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

一般入試	特別入試（推薦入試・帰国子女特別入試）
<p>1. 募集人員 別表のとおり</p> <p>2. 願書受付期間 平成 28 年 1 月 25 日（月）～2 月 3 日（水）</p> <p>3. 個別学力試験の期日 前期日程：課さない 後期日程：平成 28 年 3 月 12 日（土）</p> <p>4. 合格者の発表 前期日程：平成 28 年 3 月 7 日（月） 後期日程：平成 28 年 3 月 20 日（日）</p> <p>5. 入学手続期間 前期日程：平成 28 年 3 月 8 日（火）～3 月 15 日（火） 後期日程：平成 28 年 3 月 21 日（月）～3 月 27 日（日）</p> <p>6. 追加合格通知期間 当初の合格者で入学定員に満たない場合は、平成 28 年 3 月 28 日（月）から合格者の追加を行います。</p>	<p>1. 募集人員 別表のとおり</p> <p>2. 願書受付期間 平成 27 年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）</p> <p>3. 選抜試験の期日 平成 27 年 11 月 27 日（金） （志願者が多数の場合は 11 月 28 日（土）に及ぶ場合もあります。）</p> <p>4. 合格者の発表 平成 27 年 12 月 9 日（水）</p> <p>5. 入学手続期間 平成 28 年 1 月 18 日（月）～1 月 22 日（金）</p>

個別学力検査日時・会場

期 日	教 科	時 間	会 場
平成 28 年 3 月 12 日（土）	数学	9：30～11：30	北見工業大学、東京会場（日本大学経済学部） 又は大阪会場（大阪商業大学）
	理科	12：50～14：20	

= 研究助成 =

平成27年度共同研究の受入状況

(研究協力課)

平成27年9月30日現在

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
マテリアル工学科	教授	阿部 良夫	エレクトロクロミック材料向けスパッタリングプロセス高速化の研究	株式会社神戸製鋼所技術開発本部
マテリアル工学科	教授	南 尚嗣	北見市における下水汚泥及び放流水のモニタリング調査研究	北見市上下水道局
マテリアル工学科	助教	坂上 寛敏	スクラムミックスセンター臭気成分の定量に関する研究	北見市上下水道局
マテリアル工学科	助教	坂上 寛敏	北見市浄化センター臭気成分の定量に関する研究	北見市上下水道局
社会環境工学科	助教	川尻 峻三	河川の低水路および高水敷の地盤強度分布把握に対する表面波探査の適用	株式会社開発工営社
機械工学科	教授	羽二生 博之	ドローンによる航空測量および農地作柄評価のためのカメラ自動制御システムと画像処理手法の開発	株式会社オホーツク位置情報サービス
機械工学科	教授	鈴木 聡一郎	日本人の骨格に適合したスキーブーツ設計に関する研究	株式会社レクザム
社会環境工学科	教授	川村 彰	舗装剥離現象の原因に関する研究	北見市
マテリアル工学科	准教授	伊藤 英信	光触媒フィルターの開発に関する研究	一般社団法人北見工業技術センター運営協会
社会環境工学科	准教授	井上 真澄	温水循環式エアヒーターを用いたコンクリート給熱養生システムの構築	エクセン株式会社
社会環境工学科	准教授	舘山 一孝	路面雪氷センシング技術の高度化に関する研究	国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
電気電子工学科	助教	酒井 大輔	UVナノインプリントを用いた次世代光学素子の開発	丸善石油化学株式会社／ 国立大学法人北海道大学
情報システム工学科	准教授	曾根 宏靖	ファイバレーザによる超広帯域光の発生に関する研究	国立研究開発法人産業技術総合研究所／ 国立大学法人茨城大学
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	エコアイランド及びガスハイドレート発電システムのエネルギー制御実験と、周辺技術のビジネス化の検討	リコーITソリューションズ株式会社
社会環境工学科	教授	川村 彰	ワイヤレス路面性状測定装置の開発	株式会社PROFICT LAB
機械工学科	准教授	松村 昌典	住宅用24時間換気システムに関する研究	ケイ・マック株式会社北海道
電気電子工学科	准教授	高橋 理音	小型風力発電システムを用いた電力および熱供給制御システムの開発	オホーツク新エネルギー開発推進機構
電気電子工学科	准教授	吉澤 真吾	海底資源探査・海底地盤モニタ用の水中大容量通信に向けた、通信信号で変調を受けたレーザー光の水中の伝搬特性と復調特性を調査するための甲乙丙丁四者の基礎実験に関する研究	独立行政法人海洋研究開発機構／ 三菱電機特機システム株式会社／ 三菱電機株式会社情報技術総合研究所
情報処理センター	講師	三浦 克宜	インタークラウドにおける多目的最適化手法を用いた、ITサービスの継続的最適配置に関する共同研究	SCSK株式会社／国立大学法人北海道大学
社会環境工学科	准教授	白川 龍生	積雪の断熱効果を利用した冬季向け温度差発電システムの開発	北見市／企業組合北見産学医協働センター
機械工学科	准教授	林田 和宏	ディーゼル機関の軽負荷燃焼の改善—白煙、臭気に関する研究	いすゞ自動車株式会社エンジン実験第一部
マテリアル工学科	准教授	宇都 正幸	農業用資材梱包用ポリマーの耐寒性評価	ホクレン包材株式会社
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	低温環境下における免震ゴムの性能評価試験	住友理工株式会社化工品技術部
社会環境工学科	教授	川村 彰	帯状ガイドライトの視認性評価に関する調査研究	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

平成27年度累計75件

平成27年度受託研究の受入状況

(研究協力課)

平成27年9月30日現在

所 属	職 名	研究担当者	研究題目	委託機関	所要経費 円
機械工学科	教授	鈴木 聡一郎	住宅用床下点検口蓋の多機能化に関する研究	ブレイン株式会社	325,000

平成27年度累計11件

平成27年度奨学寄附金の受入状況

(研究協力課)

平成27年9月30日現在

所 属	職 名	研究者	寄附目的	寄附者	寄附金額 円
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	工学研究のため (臭気要因特定に関する解析)	株式会社グリーンズ北見	1,000,000
社会環境工学科	教授	高橋 清	工学研究のため	日本工営株式会社 コンサルタント国内事業本部	324,000
バイオ環境化学科	准教授	小西 正朗	海外研究発表の支援のため (公益財団法人化学工学会北海道支部 若手研究支援 事業による)	小西 正朗	104,020
バイオ環境化学科	准教授	兼清 泰正	研究活動のため	兼清 泰正	300,000
電気電子工学科	准教授	橋本 泰成	学術研究に要する経費に充てること	社会医療法人 明生会	600,000
バイオ環境化学科	教授	吉田 孝	漆科学研究者育成助成 海外留学生の研修	京都市・山本文二郎漆科学研究助成 事業委員会	200,000
情報システム工学科	准教授	前田 康成	工学研究のため	アドバンスヘルスケア株式会社	200,000
社会連携推進センター	センター長	川村 彰	オホーツク地域の行政・民間団体との共同研究・研究 交流、及び技術指導、教育、開発等を推進するため	北見工業大学社会連携推進センター 推進協議会	1,700,000

平成27年度累計42件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	新職名(発令事項)
27.9.11	情報図書課長	吉竹 忍	情報図書課長(係長兼務)
〃	情報図書課係長	上野 智子	育児休業(期間:平成29年6月30日まで)
27.9.30	工学部教授	中山 恵介	辞職(神戸大学へ転出)
〃	工学部講師	後藤 文太郎	任期満了退職

= 受賞 =

生産基盤工学専攻ヌルアイヒマティジャン・アブリズさんが Best Paper Award を受賞

(社会環境工学科)

本学大学院博士後期課程生産基盤工学専攻のヌルアイヒマティジャン・アブリズさんが、8月11日(火)に中国・大連で開催された国際会議 ICPT (The International Committee on Pavement Technology) 2015 で、「Best Paper Award」を受賞しました。

ICPT は、国際会議を通じて異なる国や地域の研究者と技術者が交流し、世界中の舗装技術の進歩を促進することで、発展途上国における舗装技術を向上させることを目的としています。特に、急速に発展する東アジア地域において、アジア諸国の研究者・技術者が他の国や地域の研究者・技術者と交流し、それぞれの経験や技術を交換することに重点をおいています。1993年以來第9回目の開催となった今回は、30の国

と地域から 650名の参加があり、171件の研究発表がありました。

ヌルアイヒマティジャン・アブリズさんは、社会環境工学科 川村彰教授、富山和也助教、並びに社会環境工学専攻修了生 藤田旬氏らで行った研究について発表しました。本研究は、簡易な路面測定装置と GIS (地理情報システム) およびドライビングシミュレータを組み合わせ、経済的かつ効率的に舗装路面の状態を測定し評価することを目的としたものです。この研究成果は、新たな路面測定・評価技術として、今後も発展が予想されるアジア地域のみならず、世界各国における舗装マネジメントへの貢献が期待されるものです。この研究内容と成果が評価され、今回の受賞となりました。

<受賞論文>

Nueraihemaitijiang Abulizi, Akira Kawamura, Kazuya Tomiyama, and Shun Fujita:
Measurement and Evaluation of Road Roughness Conditions by Using a Compact Road Profiler and ArcGIS



Best Paper Award



受賞を喜ぶヌルアイヒマティジャン・アブリズさん

社会環境工学科 亀田貴雄教授が 日本雪氷学会論文賞を受賞

(社会環境工学科)

9月15日(火)に信州大学理学部で開催された雪氷研究大会において、社会環境工学科の亀田貴雄教授が公益社団法人日本雪氷学会論文賞を受賞しました。

日本雪氷学会論文賞は、雪氷学の発展に貴重な貢献となる論文の著者に贈られるもので、過去1年間に学会誌「雪氷」に掲載された論文の中から1編が選ばれます。

この論文は、3月まで本学大学院に所属していた柳敏氏を中心に、柳氏の指導を行っていた亀田教授や田牧純一名誉教授、ウラ・シャリフ准教授及び久保明彦助教と共

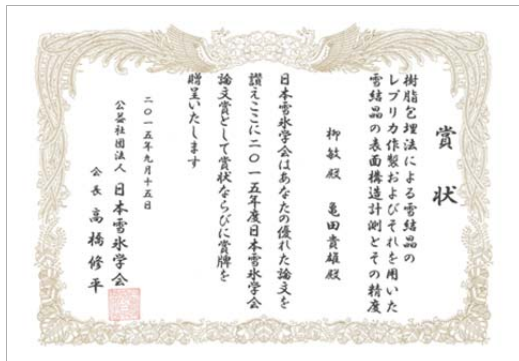
同で行った研究について執筆されたものです。日本雪氷学会論文賞の受賞者は雪氷学会員の正会員に限られるため、今回は亀田教授と柳氏の2名が受賞となりました。

論文では、光硬化性樹脂を用いて雪結晶レプリカを作る方法について、世界で初めて報告が行われました。その方法の詳細や精度、及び雪結晶レプリカを使った雪結晶の表面構造についても記されており、論文内容の新規性が評価され、今回の受賞となりました。

<受賞論文>

柳 敏、久保明彦、亀田貴雄、田牧純一、ウラ・シャリフ

樹脂包埋レプリカによる雪結晶のレプリカ作製およびそれを用いた雪結晶表面構造の計測とその精度



日本雪氷学会論文賞



亀田教授(左)と柳さん

＝諸報＝

「おもしろ科学実験」を開催

(社会連携推進機構)

本学では、実験やものづくりを通じて子供たちの理科離れを防ぐとともに科学への興味を喚起することを目的として、小・中学生を対象とした「おもしろ科学実験」を平成12年度から開催しており、今年で16回目となります。

8月1日（土）に開催したおもしろ科学実験には、地元はもとより道内外から延べ450

人が参加し、用意した23テーマの中から希望したテーマに真剣に取り組んでいました。中には午前及び午後と連続して参加する子供たちもあり、夏休みの一日を満喫していました。

連日の暑さも一休みという涼しい中での開催となり、子供たちは元気に実験やものづくりを体験していました。



開会式及び実験の様子

小中学校教諭対象の理科実験研修 「地質見学会～地層と化石を探る」を実施

(研究協力課)

8月7日(金)、小中学校教諭を対象とした理科実験研修「地質見学会～地層と化石を探る」を実施しました。

この研修は、本学と北見市教育委員会が平成23年8月に締結した連携協定に基づく取り組みの一つで、今回で3回目の実施となりました。

社会環境工学科の伊藤陽司准教授を講師

として、北見市近郊の露頭において、小中学校の理科授業内容に合わせた地層や岩石に関する解説や、化石の採取等を行いました。当日は小中学校教諭等4人が参加し、研修実施後のアンケートでは「授業で活かそう」「授業で使うサンプルが入手できた」との声が寄せられました。



理科実験研修の様子

「大学で学ぶサイエンス」を実施

(学生支援課)

8月7日(金)、8日(土)の2日間、「大学で学ぶサイエンス」を実施しました。

昨年度までは、平成15年度以降毎年採択されていた「サイエンス・パートナーシップ・プログラム(SPP)」の事業として実施していましたが、今年度からは当該プログラムの募集が中止となったため、本学独自の事業として実施しました。

今年度は、北見柏陽高等学校の生徒4名、北見緑陵高等学校の生徒10名及び遠軽高等学校の生徒8名の合計22名が、「環境に優しいエネルギーを学ぶ～水素エネルギーと熱エネルギー～」(講師:バイオ環境化学科 岡崎文保准教授、機械工学科 林田和宏准教

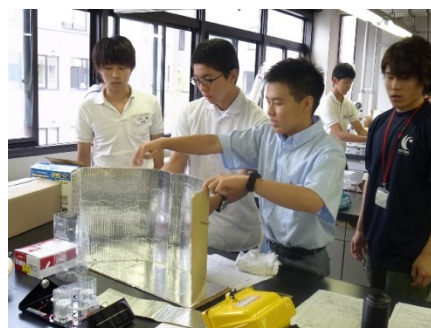
授)というテーマで体験学習を行いました。

第1日目は、開講式の後、「地球環境問題とエネルギー」の講義と「太陽光利用技術」、「燃料電池模型実験」の体験学習と討議、第2日目は、「熱エネルギーと火力発電の原理」の講義と「物質の三態」、「汽力発電」の体験学習と討議を行い、レポート作成の後、体験学習発表会を行いました。

受講した高校生は、TA(ティーチングアシスタント)のサポートを受けながら実験やレポート作成に取り組み、他校の生徒と協力して討議・発表を行うなどエネルギーに対する理解を深め、充実した2日間となった様子でした。



開講式の様子



太陽光発電の実験の様子



熱エネルギーの実験の様子



レポート発表の様子

学生寮防火訓練を実施

(施設課)

8月10日(月)、北苑寮と北桜寮において防火訓練を実施しました。北桜寮の避難訓練から始まり、北苑寮避難訓練、消火器取扱訓練、屋内消火栓の取扱訓練を行いました。

訓練には、約40人の学生が参加しました。避難訓練は、北苑寮・北桜寮どちらも寮内熱感知器の発報から始まり、寮生で組織された自衛消防隊が消防への通報連絡や寮生

の避難誘導などの任務にあたりました。避難完了後には、立ち会った北見地区消防組合本部の署員から講評があり、避難時や初期消火時の注意点などについて指導していただきました。

また、本物の消火器の代わりに水消火器を使った消火訓練も行い、寮生が真剣に取り組む様子が見受けられました。



通報訓練



消防署員からの講評



消火器の取扱訓練(北苑寮生)

「おもしろ科学の祭典 in びほろ」に参加

(社会連携推進機構)

8月22日(土)、美幌町で開催された「第13回おもしろ科学の祭典inびほろ」に、本学オホーツク地域エネルギー環境教育研究会が参加しました。この祭典は、科学遊びを通して自然科学のすばらしさや不思議を体験するとともに、子供から大人まで共通の楽しみを共有して人と人のつながりの大切さを感じる機会となることを目的として開催されています。

今年は全体で18のブースがあり、本学のブースでは、圧電素子とLEDを使った振動発電と液体窒素を利用した瞬間アイスの実験

を行いました。さらに、ステージ上では「極低温-200℃の世界」と題してサイエンスショーを行い、花やバナナ等、様々なものを液体窒素で凍らせました。凍らせたソフトテニスボールをバットで打つと大きな音を立てて粉々になり、その破片を拾いに子供達が一斉に集まりました。最後に高さ6メートルの巨大な雲の柱を作り、拍手と歓声に包まれながらショーを終了しました。

科学への興味・関心を引き出すよい機会となり、また、本学の地域貢献の一つにもなりました。



会場の様子

平成 27 年度北見工業大学技術部技術員研修を実施

(技 術 部)

8月24日(月)、平成27年度北見工業大学技術部技術員研修を実施しました。

この研修は、技術員が職務を通じて習得した技術成果及び業務内容を発表し、技術的交流と相互の資質向上を図ることや、職務に関する必要な知識を広く習得することを目的として毎年実施しており、今年度は32名が受講しました。

研修は、中西喜美雄技術部室長による開講の挨拶から始まり、機械工学科 富士明良教授による「溶接・接合法の進歩～いかけや人生46年から～」と題した講演に続き、技術員4名による日頃の業務内容・業務成果等についての技術発表、平松雅宏技術専門員による先輩講話が行われました。

午後には施設見学として女満別空港を訪

れ、新管制塔や電源局舎、消防車庫などを見学させていただきました。最後に、亀丸俊一技術部長から挨拶があり、1日の研修を終えました。

この研修を通して、普段の業務では学ぶことのない内容や他分野の技術員の知識・技術の一端を知ることができ、有意義な時間を持つことができました。

また、研修会実施に当たりご協力・ご説明いただいた国土交通省東京航空局女満別空港出張所および北海道女満別空港管理事務所の皆様、そして各所との連絡・調整や空港の施設概要等の説明をしていただいた女満別空港ビル株式会社の織作準一郎次長に、この場を借りてお礼申し上げます。



富士教授による講演



女満別空港施設見学

高大連携協力に関する協定に基づく講座を実施

(学生支援課)

8月26日(水)、本学と北海道遠軽高等学校との高大連携協力に関する協定に基づき、「遠軽高校講座」を実施しました。この協定は、本学と遠軽高校が連携することにより高等学校教育と大学教育との円滑な接続を図り、人材育成に資することを目的として平成25年度に締結したもので、本講座は今年度で3回目の開催となります。

当日は、北海道遠軽高等学校の生徒13名が「ひかりをもっと楽しもう！」(講師：情報システム工学科 亀丸俊一教授)というテーマで体験学習を行いました。

開講式の後、参加者は「身の回りにある

たのしい光の現象」について講義を受け、学生食堂で昼食をとるなど、ひと足早い大学生気分を味わいました。また、遠軽高校から本学に入学した先輩から激励を受ける姿も見られました。

午後からはLEDをつかった「ひかり」の実験を行った後、班毎にパワーポイントを使いレポートにまとめ発表を行いました。教員やTA(ティーチングアシスタント)からの質問に苦戦しながらも答えるなど、身近なひかりについて楽しみながら学ぶことができ、充実した1日となった様子でした。



講義の様子



「ひかり」の実験の様子



レポート作成の様子



プレゼンテーションの様子

イノベーション・ジャパン 2015 へ出展参加

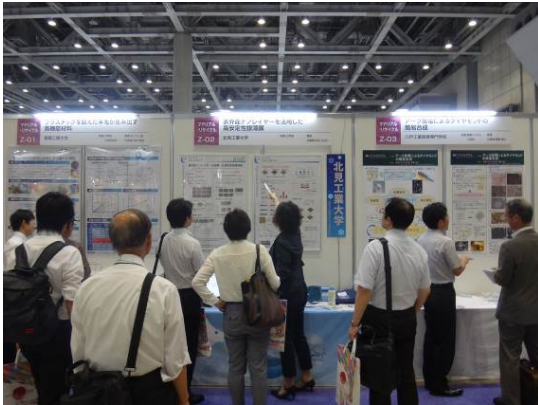
(社会連携推進センター)

8月27日(木)、28日(金)の2日間、東京ビッグサイトを会場に開催されたイノベーションジャパン2015に出展参加しました。本展示会は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が連携した、我が国の産学連携を強力に推進するための国内最大規模の産学マッチングイベントです。

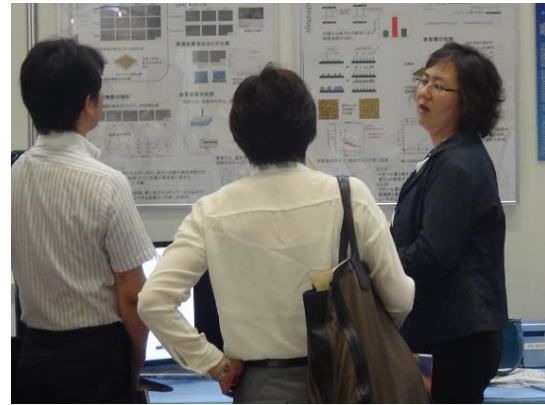
12回目を迎えた今回は、500を超える大学とベンチャー企業等が参加し、その研究成果や開発技術の展示、プレゼンテーション及びセミナー等が行われました。200を超えるJST発の研究開発成果を紹介する「JSTフェア2015」も同時開催され、会場には各種メディアや産業界、官公庁などから2日間でおよそ2万人の来場がありました。

本展示会への出展は、技術内容の審査を経て実現します。本学からは、マテリアル工学科 川村みどり教授が取り組む「表界面ナノレイヤーを活用した高安定性銀薄膜」に関する研究成果について出展が実現しました。出展技術に対する多くの関心を反映し、本学ブースには絶え間なく来場者が訪れていました。

本展示会は、出展する技術の背景となる社会状況や関連市場などの情報を得ることができる貴重な機会であることから、本学においても研究力向上につながる展示会として重視しています。また、出展を通じて本学のプレゼンス向上に大きく寄与できる場でもあり、出展の実現には厳しい審査をクリアする必要がありますが、今後も挑戦していきます。



本学出展ブース



来場者への技術説明を行う川村教授(右)

北の逸品インフォメーションバザール in Tokyo 2015 へ出展参加

(社会連携推進センター)

9月2日(水)、3日(木)の2日間、池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル4階を会場に開催された北洋銀行・帯広信用金庫主催の「北の逸品インフォメーションバザールin Tokyo 2015」に出展参加しました。本イベントは北海道の加工食品や農産物等を首都圏に紹介し、市場における販売ルートの開拓や販路の拡大を目指す実践的な商談会で、商品開発にむけたニーズ収集、首都圏バイヤーとのネットワーク構築などを目的とした事業で、来場者が4,000人を超える大規模な商談会です。

本学は工農人材育成事業の成果発表の場として参加し、受講生が試作品の試食アンケートを行って今後の商品化へとつながる情報を得ています。また、工農事業の受講生でもある「農業法人有限会社香遊生活」、「株式会社北見ハッカ通商」も本イベントに参加しました。「株式会社東京農大バイ

オインダストリー」や、東京農業大学が本学と同様の地域再生人材育成事業を実施した際の受講生等が立ち上げた「NPO法人創成塾」、北見市、北見観光協会、商工会議所も参加しており、産学官連携で地域と地域商品のPRを行いました。

鹿児島銀行等が主催する「南の逸品商談会 in Tokyo 2015」も同会場で開催されており、南北の特産品のコラボレーション等も期待されました。受講生にとっては、自らが開発した商品の販売ルートの開拓や販路の拡大を目指すだけでなく、新たな開発に向けた情報共有とネットワーク構築に向けて価値のある場となりました。本学が地域貢献や指導的立場で本事業へ参加することは、今後のシーズ発掘や工農事業におけるマネジメントの観点からも、有効であると考えています。



工農事業により開発した商品群



試食アンケートの様子

「科研費パワーアップセミナー」を開催

(研究協力課)

9月3日(木)、第1総合研究棟2階多目的講義室において「科研費パワーアップセミナー」を開催しました。

セミナーでは、岐阜大学研究推進・社会連携機構の馬場大輔特任准教授からは「科研費申請書を書く上でのポイント・テクニック」、本学バイオ環境化学科の齋藤徹教授からは「輝くための科研費獲得講座」と題した講演があり、科研費に関する最近の情報や実体験を交えた計画書の記載方法な

ど、幅広い内容での講演に参加者は熱心に耳を傾けていました。また、講演終了後には、平成28年度における主な変更点を中心に事務担当者から科研費申請に係る注意事項の説明を行いました。

今回のセミナーには、本学教職員を始め、釧路工業高等専門学校、釧路公立大学、日本赤十字北海道看護大学から約50名の参加がありました。



講演する馬場特任准教授



講演する齋藤教授

研究費使用に関する意見交換会を開催

(不正防止対策室)

9月3日(木)、本学教職員を対象とした「研究費使用に関する意見交換会」を開催し、教職員25人が参加しました。

この意見交換会は、本学の不正防止計画に則り、研究現場における研究費の使用について教員と事務職員との意見交換を通じて問題意識の共有と相互理解の促進を図ることを目的に、不正防止対策室が開催したものです。

意見交換会では、「研究活動の不正防止説明会」受講後のアンケートに寄せられた質問・意見・要望と、それに対する事務局各

担当課の回答や対応状況についての報告をもとに、意見交換を行いました。

意見交換では、各担当課の業務改善の参考となる物品購入手段等の改善などの意見が複数ありました。また、昨年度の意見交換会時に未実施となっていた要望に対し、経過状況の説明も行われました。

当日会場で配付された質問・意見・要望に対する各担当の回答についての資料及び意見交換の内容は、学内メールシステムのサイボウズ掲示板にも掲載され、全教職員に周知されました。



説明する野矢不正防止対策室長(右)



会場の様子

第 28 回国立大学法人共同研究センター等教員会議に出席

(社会連携推進センター)

9月3日(木)、4日(金)の2日間、香川大学で第28回国立大学法人共同研究センター等教員会議が開催され、全国の国立大学で産学連携・社会貢献部門の教員が集まりました。

本会議は、大学の社会貢献活動の向上に向け、各大学が取り組んでいる産学官連携活動に関する情報共有と、それらを通じた産学官連携に関する課題解決に向けた議論を行うことを目的に開催されています。本学からは社会連携推進センターの有田敏彦教授が出席しました。

まず、文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課の次田彰地域支援企画官から、「産学官連携に関する諸課題と地域イノベーション推進施策」と題した基調講演が行われました。引き続き「大学として地域創生を考える」をテーマとした会議が行われ、分科会1では「地域創生における大学の役割」のテーマの下、「大学が社会から真に求められているものは何か」「その要求に応えるための体制はどのようなもの

か」について議論しました。分科会2では、「地域創生における大学関与の手法(進め方)」をテーマとし、高い必要性が指摘されている地域間ネットワークに焦点を当てて議論しました。分科会3では、「地域創生を進めるために大学はどのような組織であるべきか」をテーマとし、共同研究センター等の役割と体制の変化について議論しました。これら議論の結果は、9月17日(木)から電気通信大学で開催された「国立大学法人共同研究センター長等会議」においても報告されました。

今回の会議では、地域創生への貢献を求められる大学のこれからについて、重要な役割を担う関係者によって議論を深めていきました。そして、それぞれの職務に活かすための貴重な成果を得る機会となったばかりでなく、国や社会に対しても課題や重要な論点を発信する価値ある機会となりました。本会議での議論を、本学での活動にも活かしていきます。

平成 27 年度第 1 回安全衛生講習会を実施

(施設課)

9月10日(木)、今年度第1回目となる安全衛生講習会を第1体育館にて実施しました。アスリンク代表・前崎さやこ氏を講師に迎え、当日は教職員約15名が参加しました。

「身体(からだ)リフレッシュ運動」と題して、デスクワークによる肩こり・腰痛予防運動や、ストレッチと脳トレ体操で運動

不足の身体にやさしく「喝(活)！」を入れる運動を行いました。

行なった運動は男女や年齢に関係なく楽しみながら行えるもので、90分間の講習の後には、「肩こり等の改善が感じられた」「年に数回実施してほしい」などの感想が寄せられました。



前崎氏による挨拶



体を動かす参加者

「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」を開催

(知的財産センター)

9月14日(月)、15日(火)に、本学を会場として「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」を開催しました。

本会議は、大学間の知的財産活動、産学連携活動の連携推進、情報交換を目的として開催され、今回で8回目となります。当日は旭川医科大学や帯広畜産大学、公立はこだて未来大学、札幌医科大学、室蘭工業大学、稚内北星学園大学、工業所有権情報・研修館、発明推進協会、北海道大学など、関連組織・機関の担当者が出席しました。

1日目は全体会議を開催し、各大学における知的財産戦略について意見交換するとともに、次年度以降の全体活動について議論

しました。また、全体会議の司会を務めた鞆師守知的財産センター長から、「大学における特許マップの作成・活用の試み」と題した話題提供も行われました。

2日目には、各大学の特徴を活かした知的財産の創出・活用を促進する「活用系ワーキンググループ会議」と、知的財産事務の水準向上を目指す「事務系ワーキンググループ会議」とに分かれて議論しました。

会議やネットワークを運営していくためには多大な努力の継続が必要ですが、知的財産活動の水準向上に向け、このネットワークを発展させていく意義を確認する会議になりました。



全体会議の様子

図書館消防訓練を実施

(情報図書課)

9月30日(水)、図書館で消防訓練を実施しました。本学図書館は、夜間及び土日祝日は非常勤職員(大学院生)のみの対応となるため、その想定のもとで訓練を行いました。

当日は時折雨が降るあいにくの天気でしたが、柴野純一図書館長や消防署員が見守るなか、館内各所に配置した仮想利用者の避難を誘導したり、非常ベルや防火扉を作

動させたりするなど、より実践的な訓練を行いました。

避難完了後には、消防署員の方から講評をいただき、停電時を想定して目隠しをしたまま避難したり、水消火器を使用して模擬消火を体験したりしました。

次年度以降も、実際に即した訓練を継続する予定です。



訓練の様子

= 情報公開 =

財務諸表等の開示

(財 務 課)

国立大学法人法に基づき、平成 27 年 8 月 31 日付けで文部科学大臣の承認を受けた平成 26(第 11 期)事業年度の財務諸表(附属明細書を含む。)及び関係書類を、本学ホームページ(<http://www.kitami-it.ac.jp/about/info-about-kitami/>)に掲載しましたので、お知らせします。

= 日誌 =

8 月

- 1日 おもしろ科学実験
- 3日 社会連携推進センター運営会議、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 7日 大学で学ぶサイエンス（～8日）、教員免許状更新講習（～12日）、入試企画センター運営会議、推薦入学者選抜実施委員会
- 10日 学生寮防火訓練
- 19日 スーパー連携大学院プログラム「現役社長の講話Ⅳ」（～21日）
- 20日 地域連携・国際交流委員会
- 21日 利益相反マネジメント委員会
- 24日 平成27年度秋季・平成28年度大学院工学研究科博士前期課程入学試験（～25日）
- 25日 教育研究評議会、教務委員会
- 26日 人を対象とする研究倫理審査委員会、遠軽高校講座、平成27年度秋季・平成28年度大学院工学研究科博士後期課程入学試験
- 31日 入学者選抜委員会

9 月

- 2日 教授会、研究科委員会、平成27年度秋季・平成28年度大学院入学試験合格発表
- 3日 科研費パワーアップセミナー、研究費使用に関する意見交換会、平成27年度秋季大学院入学手続（～10日）
- 4日 学位記授与式
- 7日 社会連携推進センター運営会議、オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 10日 安全衛生講習会
- 11日 発明審査委員会
- 14日 北海道地域大学等知的財産部門連絡会議（～15日）、就職支援室会議
- 16日 教育研究評議会、役員会
- 17日 経営協議会、学長選考会議
- 18日 教務委員会
- 29日 TAのFD研修、ピア・サポート研修会（～30日）
- 30日 就職ガイダンス、図書館消防訓練